

南薩地域 循環型社会形成推進地域計画

南薩地区衛生管理組合

枕崎市

日置市

南さつま市

南九州市

平成23年1月13日

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 枕崎市、日置市（伊集院町、日吉町及び吹上町の区域）、南さつま市、南九州市（知覧町及び川辺町の区域）

※但し、日置市（伊集院町、日吉町及び吹上町の区域）は生活排水のみ対象

- ・半島振興法に基づく半島振興対策実施地域
- ・過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域

面積 787.86 k m²

人口 129,075 人（平成 22 年 3 月 31 日現在）

（内 訳）

市町村名・区域名		面積(km ²)	人口(人)
合計(生活排水処理)		787.86	129,075
日置市	伊集院町	55.83	24,275
	日吉町	29.25	5,471
	吹上町	96.99	8,961
合計(ごみ処理)		605.79	90,368
枕崎市		74.88	24,139
南さつま市		283.37	39,400
南九州市	知覧町	120.19	12,663
	川辺町	127.35	14,166

(2) 計画期間

本計画は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

南薩地域は、鹿児島県の薩摩半島西部に位置しており、北はいちき串木野市・薩摩川内市、東は鹿児島市・指宿市、南西は東シナ海に臨んでいる。

本地域の漁業・農業等の状況は、枕崎市でかつお漁やかつお節の生産が盛んで、南九州市でお茶の生産や鶏卵・豚の畜産が盛んである。観光の状況としては、知覧町の武家屋敷や特攻平和会館が観光施設として多くの観光客が訪れている。

事業系ごみの発生量は、前述の区域が比較的多い傾向にあることから、その発生抑

制及び再生利用の推進を図る。家庭系ごみについては、近年ごみの発生抑制が進んできている一方、資源ごみの回収量が低下してきていることから、ごみの分別の徹底や処理施設の整備等による資源ごみの回収量の増加を図り、最終処分量の削減を図る。

循環型社会の形成を実現するために、住民・事業者・行政が一体となって協力し、より充実した廃棄物リサイクル・処理システムの構築を目指す。

一方、生活排水処理については、し尿及び浄化槽汚泥の処理を現在4箇所のし尿処理施設で行っているが、施設の老朽化が進んでいるとともに、1箇所に施設を集約化し、処理の効率化を図る。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成21年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1のとおりである。

排出量は30,079トンであり、再生利用される「総資源化量」は4,213トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は14.0%である。

中間処理による減量化量は20,804トンであり、排出量のおおむね7割が減量化されている。また、排出量の約17%に当たる5,062トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は23,030トンである。焼却施設のうち、「内鍋清掃センター」では、温水の場内利用を行っている。

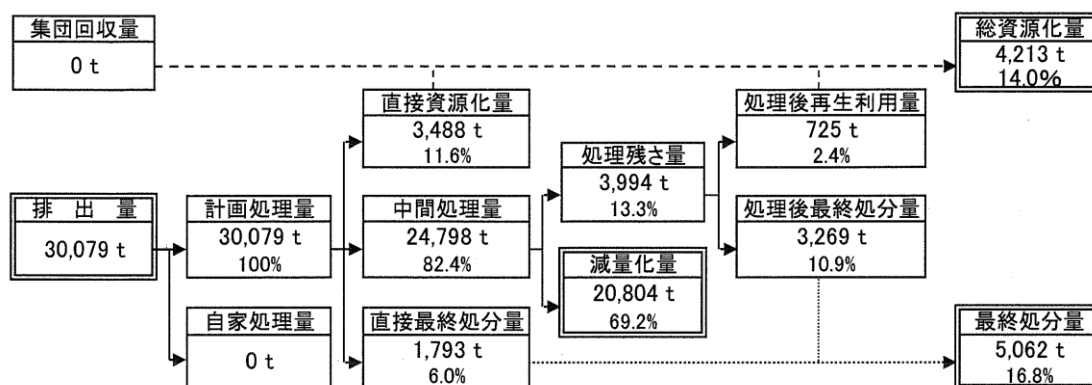


図1 一般廃棄物の処理状況フロー

(2) 生活排水の処理の現状

平成 21 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量（※ともに予測値）は図 2 のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で 131,541 人であり、水洗化人口 69,848 人、汚水衛生処理率 53.1% である。

し尿発生量は 23,873 kl/年、浄化槽汚泥発生量は、50,202 kl/年であり、処理・処分量（=収集・運搬量）は 74,075 kl/年である。

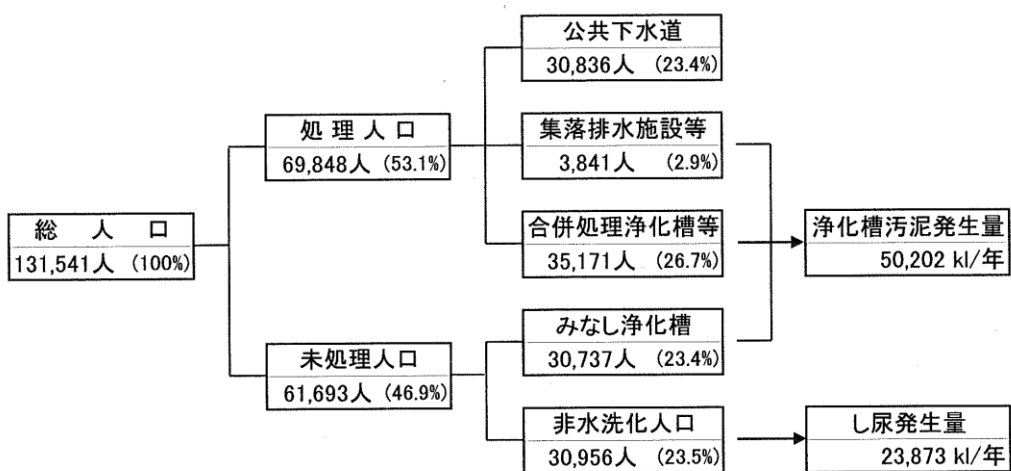


図 2 生活排水の処理状況フロー

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標・単位		現状(割合※1) (平成21年度)	目標(割合※1) (平成28年度)
排出量	事業系 総排出量	12,507 トン	10,514 トン (-15.9%)
	1事業所当たりの排出量※2	2.6 トン/事業所	2.3 トン/事業所 (-8.8%)
	家庭系 総排出量	17,572 トン	15,412 トン (-12.3%)
	1人当たりの排出量※3	194 kg/人	187 kg/人 (-3.8%)
合計	事業系家庭系排出量合計	30,079 トン	25,926 トン (-13.8%)
再生利用量	直接資源化量	3,488 トン (11.6%)	4,685 トン (15.6%)
	総資源化量	4,213 トン (14.0%)	5,420 トン (20.9%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	— MWh	— MWh
減量化量	中間処理による減量化量	20,804 トン (69.2%)	16,762 トン (55.7%)
最終処分量	埋立最終処分量	5,062 トン (16.8%)	3,744 トン (12.4%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

※事業系ごみ排出量は、直接搬入ごみ全量とした。

※事業所数：(現状)4,897 事業所 (目標)4,515 事業所 人口：(現状)90,368 人 (目標)82,426 人

《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く) [単位：トン]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：トン]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位：トン]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：トン]

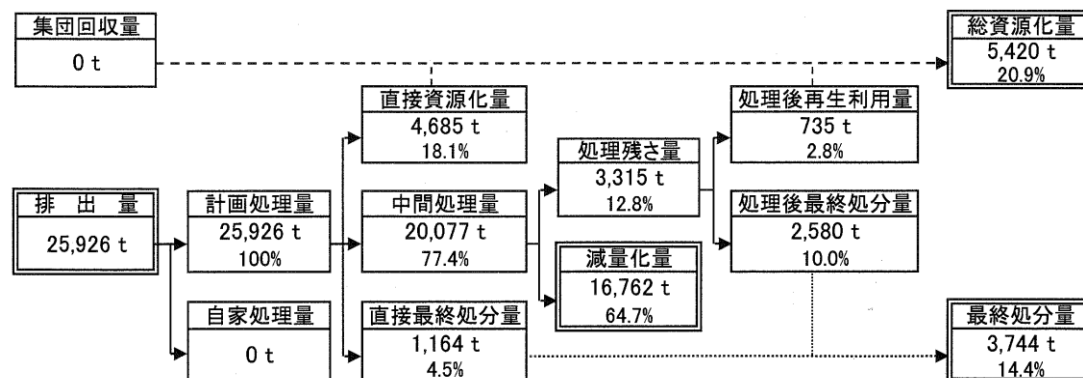


図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表2に掲げる目標のとおり進めていくものとする。

表2 生活排水処理に関する現状と目標

		平成21年度実績 (※予測値)	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	30,836人(23.4%)	32,603人(25.3%)
	集落排水施設等	3,841人(2.9%)	4,721人(3.7%)
	合併処理浄化槽等	35,171人(26.7%)	42,838人(33.2%)
	未処理人口	61,693人(46.9%)	48,666人(37.8%)
	合計	131,541人	128,828人
し尿 汚泥 の量	汲み取りし尿量	23,873キロリットル	20,931キロリットル
	浄化槽汚泥量	50,202キロリットル	58,005キロリットル
	合計	74,075キロリットル	78,936キロリットル

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア ごみ処理手数料の見直し

現在、組合の一般廃棄物処理施設へ直接搬入する場合には、搬入量に応じた手数料の徴収を行っている。一方、家庭からの収集ごみについては、指定ごみ袋制度を導入している。

今後、受益者負担の観点及びごみの減量化に対する意識の向上や、ごみの分別の徹底を図るため、手数料の見直しに関する調査・検討を進める。

イ 環境教育、普及啓発

住民及び事業者に対して、広報紙等を活用し、ごみの分別排出方法、ごみの排出量・資源化の現状などに関する情報提供を行う。ごみの減量化に関する社会意識を育むため、学校や地域社会の場において、副読本の活用等を通じた環境教育に積極的に取り組む。

また、地域住民で構成する衛生自治団体連合会と協働し、分別区分の普及啓発や資源回収率の向上などに取り組む。

ウ マイバッグ運動・レジ袋対策

地域内のスーパーマーケット等の小売店と協力しながら行っている包装の簡易化、マイバッグ運動（買物袋の持参運動）等を支援する。

エ 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、各構成市における次の啓発活動を支援する。

- ・ 広報・チラシ・パンフレットの配布等による広報活動の実施
- ・ 合併処理浄化槽の普及啓発活動の展開
- ・ みなし浄化槽からの転換の推進
- ・ 集合処理施設への接続推進

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。

現在、可燃ごみについては、南薩地区衛生管理組合の「内鍋清掃センター」及び「川辺清掃センター」の2箇所の処理施設で処理を行っている。一方、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ（空き缶・空きびん・ペットボトル・プラスチック・紙類等）については、南薩地区衛生管理組合の「内鍋清掃センター」、「川辺清掃センター」または民間委託によって処理を行っている。今後も、ごみの減量化・資源化を推進するとともに、処理施設の延命化を図りながら処理施設周辺の環境保全の維持に努め、搬入されたごみについては適正処理を行うこととする。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

今後とも家庭ごみの分別区分に準じ、収集、処分を行う。

また、多量の事業系一般廃棄物を排出する事業者に対しては、事業場における事業系一般廃棄物の減量、処理に関する計画を作成し、計画を実行するよう推進していく。

ウ 生活排水処理の現状と今後

圏域のし尿・浄化槽汚泥（集落排水施設処理汚泥を含む）の処理については、現在4箇所のし尿処理施設で行っているが、今後は、汚泥再生処理センターによる施設の集約処理を行い、助燃剤として資源化し再利用を促進する。

エ 今後の処理体制の要点

- (ア) ごみの減量化、資源化を推進するとともに、処理施設の延命化を図りながら、処理施設周辺の環境保全の維持に努め、搬入されたごみについては適正処理を行う。
- (イ) 多量の事業系一般廃棄物を排出する事業者に対しては、事業場における事業系一般廃棄物の減量、処理に関する計画を作成し、計画を実行するよう推進を図る。
- (ウ) 資源ごみ及び不燃ごみのうち一部については、資源物を一時保管するためのストックヤードを整備し、分別回収を推進することによりリサイクル率の向上及び最終処分量の負荷削減を図る。
- (エ) 新たに整備する汚泥再生処理センターにおいて、し尿、浄化槽汚泥、集落排水施設処理汚泥等を集約処理し、可燃ごみ処理施設の助燃剤として資源化を行う。

(3) 処理施設等の整備

前記(2)の処理体制で処理を行うため、表4のとおり必要な施設整備を行う。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	有機性廃棄物リサイクル推進施設	汚泥再生処理センター(仮称)整備事業	約240kl/日	南さつま市加世田村原	H25~H27
2	マテリアルリサイクル推進施設	内鍋清掃センターストックヤード(仮称)整備事業	ストックヤード 約300m ²	枕崎市火之神岬町	H24~H25

(整備理由)

事業番号1 し尿処理施設の老朽化、処理の集約、し尿処理汚泥の再生利用促進

事業番号2 回収した資源ごみの保管、資源回収量の拡大による最終処分量の削減

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり計画支援事業を行う。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	汚泥再生処理センター整備(事業番号1)に係る事前調査・設計等事業	施設整備基本計画、生活環境影響調査、発注仕様書作成など	H23~H24
32	ストックヤード施設(事業番号2)に係る事前調査・設計等事業	ダイオキシン類事前調査、解体計画設計、発注仕様書作成、ストックヤード計画設計など	H23

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 不法投棄対策

南薩地域各市・鹿児島県・鹿児島県警等の関係機関並びに、住民・事業者・各種団体等との連携を強化し、パトロールの実施等による不法投棄に対する監視及び追跡調査等の強化を行う。

不法投棄の防止について、住民一人一人が自覚するよう、衛生自治団体連合会・事業者・学校等と連携して、一斉清掃活動や環境美化月間運動の実施等により、啓発活動を強化する。

また、必要に応じて、ごみの不法投棄を禁止する看板等を設置する。

イ 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

家電リサイクル法対象品の見直しに伴い、平成 21 年度より液晶テレビ・プラズマテレビ・衣類乾燥機が追加となったことの情報提供を行う等、関連団体や小売店等と協力し、廃家電の適正な排出方法に関する普及啓発を推進する。

ウ 災害時の廃棄物処理に関する事項

南薩地域各市が策定する地域防災計画や災害廃棄物処理計画を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

南薩地域各市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、南薩地域各市、鹿児島県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

対象地域図

あいらクリーンセンター

串木衛生センター

南さつまクリーンセンター

(予定事業1) 南さつま衛生センター

南さつま市加世田ごみ最終処分場

南さつま市椎木ごみ最終処分場

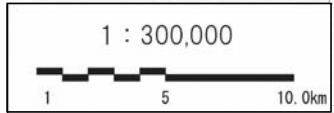
知覧ごみ中継基地
知覧最終処分場

南さつま市大浦ごみ最終処分場

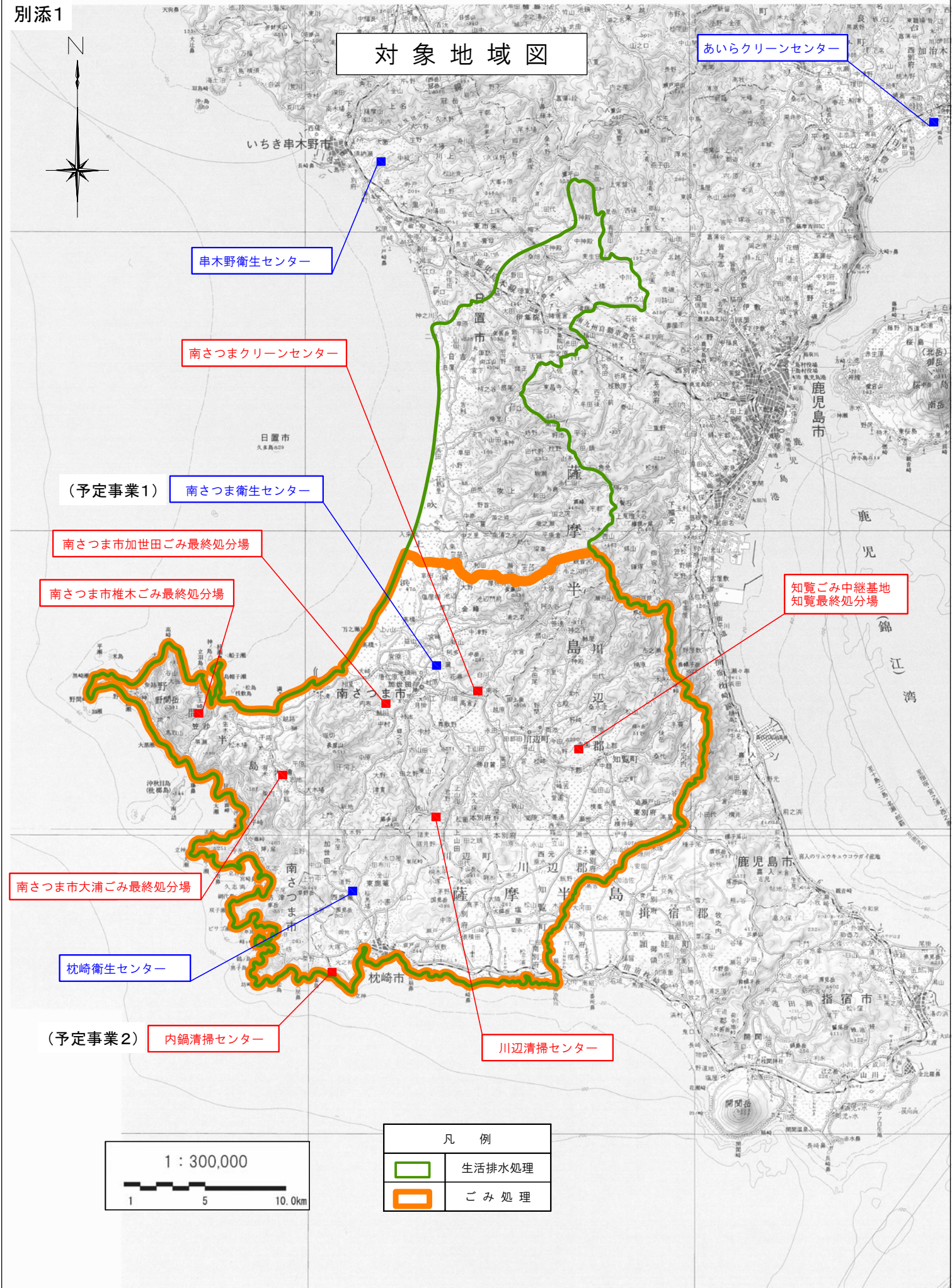
枕崎衛生センター

(予定事業2) 内鍋清掃センター

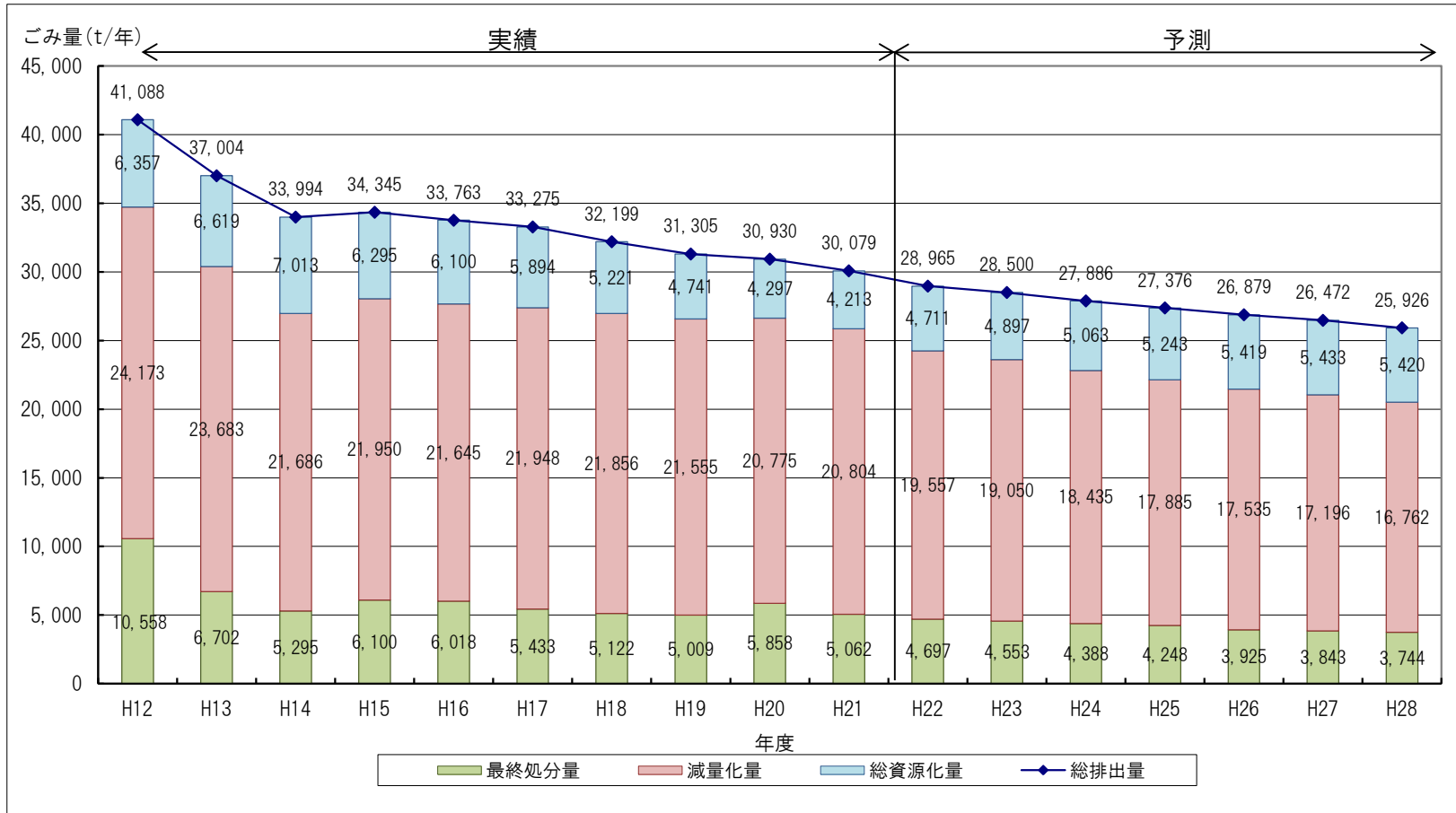
川辺清掃センター



凡例	
	生活排水処理
	ごみ処理

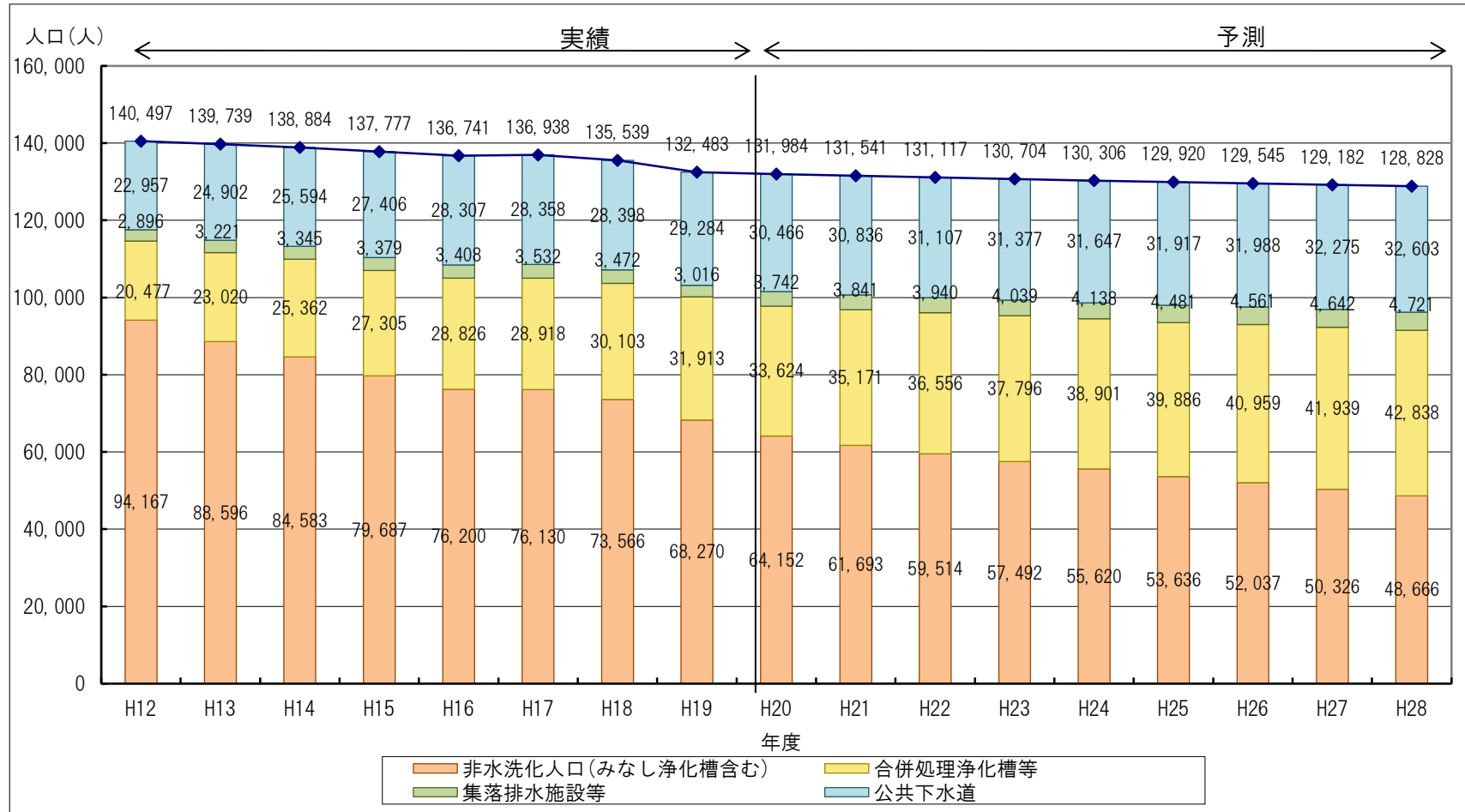


別添2-1



現状と目標のトレンドグラフ(ごみ処理)

別添2-2



現状と目標のトレンドグラフ(生活排水処理)

別添 3 現有施設の概要

表 3-1 ごみ焼却施設の概要

施設名称	内鍋清掃センター	川辺清掃センター
所在地	枕崎市火之神岬町 885 番地	南九州市川辺町上山田 4501 番地
竣工年月	平成 9 年 2 月竣工 (平成 14 年 3 月改造)	平成 6 年 3 月竣工 (平成 14 年 11 月ダ イキシ 類 無害化処理施設竣工)
処理能力	112.5t/日 (56.25t/24h×2 炉)	20 t/日 (10t/8h×2 炉) ダ イキシ 類無害化処理施設 1.5t/8h
処理方式	全連続燃焼式	機械化バッチ式
燃焼方式	流動床式	ストーカ式
余熱利用設備	場内温水	—
処理対象区域	枕崎市、南さつま市、 南九州市知覧町地区	南九州市川辺町地区

表 3-2 廃棄物運搬中継・中間処理施設の概要

施設名称	知覧ごみ中継施設
所在地	南九州市知覧町郡 15276 番地
竣工年月	平成 9 年 2 月竣工
処理能力	30t/日 破砕機 10t/日
処理方式	ホッパ方式、 三軸回転破砕機
処理対象物	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ
敷地面積	約 3,500m ²
処理対象区域	南九州市知覧町地区

表 3-3 不燃系・資源系ごみ処理施設の概要

施設名称	内鍋清掃センター		川辺清掃センター	
	粗大ごみ処理施設 (破砕処理設備)	粗大ごみ処理施設 (破砕前処理設備)	不燃物減容化設備	ストックヤード
所在地	枕崎市火之神岬町 885 番地		南九州市川辺町上山田 4501 番地	
竣工年月	平成 9 年 2 月竣工	平成 9 年 2 月竣工	平成 6 年 3 月竣工	—
処理能力	20t/日	10t/日	5t/日	—
処理対象物	缶類、不燃ごみ、 不燃性粗大ごみ	可燃性粗大ごみ	不燃ごみ (陶磁器・ ガラス類、金属類)、 空き缶	空きびん、ペットボトル、 プラスチック、紙等
処理方式	衝撃断式破砕機 (缶類を除く)、 磁選別、アルミ選別	二軸破砕機	回転ハンマ打撃式破 砕機(空き缶を除 く)、磁選別、圧縮	一時保管
処理対象区域	枕崎市、南さつま市、 南九州市知覧町地区		南九州市川辺町地区	

表 3-4 最終処分場の概要(1)

施設名称	南さつまクリーンセンター	知覧最終処分場
所在地	南さつま市金峰町花瀬 215 番地 1	南九州市知覧町郡 15237 番地
竣工年月	平成 10 年 3 月竣工	平成 7 年 2 月竣工
埋立面積	7,108 m ²	17,000 m ²
埋立容量	65,168 m ³	143,000 m ³
埋立対象物	不燃ごみ、焼却残渣、破碎処理残渣	不燃ごみ、焼却残渣、破碎処理残渣
遮水工	有り	有り
浸出水処理	凝集沈澱、生物処理、砂ろ過、消毒	凝集沈澱、生物処理、砂ろ過、消毒
処分対象区域	南さつま市(坊津町地区を除く)、 南九州市川辺町地区	枕崎市、南さつま市坊津町地区、 南九州市知覧町地区

表 3-5 最終処分場の概要(2)

施設名称	南さつま市 加世田ごみ最終処分場	南さつま市 椎木ごみ最終処分場	南さつま市 大浦ごみ最終処分場
所在地	南さつま市加世田武田 13352 番地	南さつま市笠沙町片浦 3337 番地 1	南さつま市大浦町 8507 番地
竣工年月	昭和 62 年 3 月竣工	昭和 50 年 3 月竣工	昭和 47 年 9 月竣工
埋立面積	6,808 m ²	1,482 m ²	1,500 m ²
埋立容量	32,379 m ³	6,000 m ³	15,000 m ³
埋立対象物	埋立ごみ	埋立ごみ	埋立ごみ
遮水工	有り	無し	無し
浸出水処理	凝集沈澱、生物処理、消毒	無し	無し
処分対象区域	南さつま市加世田地区	南さつま市笠沙町地区	南さつま市大浦町地区

表 3-6 し尿処理施設の概要

施設名称	枕崎衛生センター	南さつま衛生センター
所在地	枕崎市道野町 79 番地	南さつま市加世田村原 3475 番地
竣工年月	昭和 42 年 7 月竣工 (30kL/日) 昭和 52 年 4 月竣工 (15kL/日)	昭和 54 年 11 月竣工
処理能力	45kL/日 (し尿:30kL/日, 浄化槽汚泥:15kL/日)	116kL/日 (し尿:116kL/日, 浄化槽汚泥:0kL/日)
水処理方式	30kL/日: 嫌気性消化・散ろろ床処理 15kL/日: 好気性消化・活性汚泥法処理	好気性消化・活性汚泥法処理 (2 系列)
汚泥処理	脱水→場外搬出 (堆肥化) 脱水し渣はごみ焼却施設 (内鍋清掃セ ンター) へ搬出。	(昭和 61 年度まで)脱水→乾燥→焼却→場外搬出 (昭和 62 年度以降)脱水→場外搬出 (堆肥化) 脱水し渣はごみ焼却施設 (内鍋清掃センター) へ 搬出。
運転管理	直営及び委託	委託
敷地面積	4,667m ²	10,143.39m ²
処理対象区域	枕崎市、南さつま市坊津町地区、 南九州市知覧町地区	日置市吹上町地区、南さつま市(坊津町地区を除 く)、南九州市川辺町地区

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成23年度)

1 地域の概要

(1)地域名	鹿児島県 南薩地域	(2)地域内人口	129,075人	(3)地域面積	787.86km ²
(4)構成市町村等名	鹿児島県 枕崎市、日置市(伊集院町、日吉町及び吹上町の区域)、南さつま市、南九州市(知覧町及び川辺町の区域) ※但し、日置市(伊集院町、日吉町及び吹上町の区域)は生活排水のみ対象	(5)地域の要件*	人口	面積	沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	南薩地区衛生管理組合 組合を構成する市町村：枕崎市、日置市(吹上町の区域)、南さつま市、南九州市(知覧町及び川辺町の区域) ※但し、日置市(吹上町の区域)は生活排水のみ対象 設立年月日：平成19年 4月 1日設立 設立されていない場合、今後の見通し：日置市のうち、伊集院町の区域については平成24年度に、また日吉町の区域については汚泥再生処理センター整備後に、組合処理区域に編入予定。				

* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目標
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成28年度
排出量	事業系 総排出量(トン)	14,167	13,899	13,358	13,030	13,180	12,507	10,514
	1事業所当たりの排出量(トン/軒)	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.3
	家庭系 総排出量(トン)	19,660	19,430	18,841	18,275	17,750	17,572	15,412
	1人当たりの排出量(kg/人)	203	203	199	197	194	194	187
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	33,827	33,329	32,199	31,305	30,930	30,079	25,926
再生利用量	直接資源化量(トン)	5,002	4,964	4,421	3,987	3,670	3,488	4,685
	総資源化量(トン)	6,100	5,894	5,221	4,741	4,297	4,213	5,420
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	0	0	0	0	0	0	0
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	21,709	22,002	21,856	21,555	20,775	20,804	16,762
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	6,018	5,433	5,122	5,009	5,858	5,062	3,744

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する(別添2-1)。

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
熱回収施設	南薩地区衛生管理組合 南薩地区衛生管理組合	[内鍋清掃センター]全連続燃焼式流動床炉	有	112.5t/日	H9.3						
		[川辺清掃センター]機械化バッチ式焼却炉	有	20t/日	H6.4						
		[川辺清掃センター]ダケイノ類無害化処理施設(DCR脱ハロゲン化工法)	有	1.5t/日	H14.12						
廃棄物運搬中継・中間処理施設	南薩地区衛生管理組合	[知覧ごみ中継施設]ホッパ方式	有	30t/日	H9.3						
マテリアルリサイクル推進施設	南薩地区衛生管理組合 南薩地区衛生管理組合 南薩地区衛生管理組合	[内鍋清掃センター]衝撃断式破砕機	有	20t/日	H9.3						
		[内鍋清掃センター]二軸破砕機	有	10t/日	H9.3						
		[川辺清掃センター]不燃物減容化設備(回転ハム打撃式破砕機)	無	5t/日	H6.4						
マテリアルリサイクル推進施設	南薩地区衛生管理組合	[川辺清掃センター]ストックヤード*	無	383m ²	H6.4						
マテリアルリサイクル推進施設	南薩地区衛生管理組合					H26.4	資源化	ストックヤード*	H26.3	約300m ²	
最終処分場	南薩地区衛生管理組合	[南さつまクリーンセンター]遮水+浸出水処理	有	65,168m ³	H10.4						
		[知覧最終処分場]遮水+浸出水処理	有	143,000m ³	H7.3						
最終処分場	南さつま市	[南さつま市加世田ごみ最終処分場]遮水+浸出水処理	無	32,379m ³	S62.4						
		[南さつま市椎木ごみ最終処分場]安定型	無	6,000m ³	S50.4						
		[南さつま市大浦ごみ最終処分場]安定型	無	15,000m ³	S47.10						
汚泥再生処理センター	南薩地区衛生管理組合 南薩地区衛生管理組合	[南さつま衛生センター]好気性消化・活性汚泥法 [枕崎衛生センター]嫌気性消化・散水ろ床法、好気性消化・活性汚泥法	有 有	116kl/日 45kl/日	S54.12 S42.8	H28.4	老朽化、集約	浄化槽対応型膜分離高負荷+汚泥助燃剤化	H28.3	約240kl/日	現在、日置市伊集院町地区及び日吉町地区は、他施設で処理

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状						目標
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予測値)	平成21年度(予測値)	平成28年度
総人口		136,741	136,938	135,539	132,483	131,984	131,541	128,828
公共下水道	污水衛生処理人口	28,307	28,358	28,398	29,284	30,466	30,836	32,603
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	20.7%	20.7%	20.9%	22.1%	23.1%	23.4%	25.3%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	3,408	3,532	3,472	3,016	3,742	3,841	4,721
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	2.5%	2.6%	2.6%	2.3%	2.8%	2.9%	3.7%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	28,826	28,918	30,103	31,913	33,624	35,171	42,838
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	21.1%	21.1%	22.2%	24.1%	25.5%	26.7%	33.2%
未処理人口	污水衛生未処理人口	76,200	76,130	73,566	68,270	64,152	61,693	48,666

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する(別添2-2)。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成23年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
			単位		開始	終了	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度			
○再生利用に関する事業							320,000		224,000	96,000			320,000		224,000	96,000			
ストックヤード整備	2	南薩地区衛生管理組合	300	m2	H24	H25	320,000		224,000	96,000			320,000		224,000	96,000			
○し尿処理に関する事業							6,384,000			2,536,800	2,553,600	1,293,600	5,745,600		0	2,283,120	2,298,240	1,164,240	
汚泥再生処理センター整備	1	南薩地区衛生管理組合	240	kl/d	H25	H27	6,384,000			2,536,800	2,553,600	1,293,600	5,745,600			2,283,120	2,298,240	1,164,240	
○施設整備に関する計画支援に関する事業							34,760	29,124	5,636				32,608	26,972	5,636				
汚泥再生処理センター整備(事業番号1)に係る基本計画	31	南薩地区衛生管理組合			H23	H24	25,576	19,940	5,636				23,424	17,788	5,636				事業番号1に関する支援事業
ストックヤード施設(事業番号2)に係る解体撤去工事調査設計業務	32	南薩地区衛生管理組合			H23	H23	9,184	9,184					9,184	9,184					事業番号2に関する支援事業
合 計							6,738,760	29,124	229,636	2,632,800	2,553,600	1,293,600	6,098,208	26,972	229,636	2,379,120	2,298,240	1,164,240	

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

※南薩地区衛生管理組合構成市

 ごみ処理：枕崎市、南さつま市、南九州市(知覧町及び川辺町の区域)

 生活排水処理：枕崎市、日置市(吹上町の区域)、南さつま市、南九州市(知覧町及び川辺町の区域)

 なお、日置市のうち、伊集院町の区域については平成24年度に、また日吉町の区域については汚泥再生処理センター整備後に、組合処理区域に編入予定。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		
発生抑制、 再使用の 推進に関 するもの	11	ごみ処理手数料の見直し	南薩地域各市によって処理する一般廃棄物処理の有料化により、発生抑制に資する。	南薩地域各市、 組合	H 26	H 27						ごみの手数料の見直しに関する検討		
	12	学校や地域社会における環境教育	学校や地域社会の場において、副読本の活用等を通じた環境教育を推進する。	南薩地域各市、 組合	H 24	H 27		事前調整、資料作成					事業実施	
	13	マイバッグ運動・レジ袋対策の実施	地域内のスーパーマーケット等の小売店と協力し、包装の簡易化、マイバッグ運動を展開する。	南薩地域各市	H 24	H 27							普及啓発	
	14	生活排水普及啓発事業	家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、生活排水対策に関する普及啓発を行う。	南薩地域各市	H 23	H 27							事業実施	
処理体制の 構築、変 更に関する もの	21	事業系一般廃棄物の排出事業者の処理計画策定	多量の事業系一般廃棄物排出事業者に、減量、処理に関する計画を策定させ、一般廃棄物の減量化の推進を図る。	南薩地域各市	H 24	H 27		計画の内容検討 様式作成 普及啓発		事業者の計画策定		条例化検討		
処理施設の 整備に関 するもの	1	汚泥再生処理センター整備		組合	H 25	H 27	○						建設工事	
	2	ストックヤード整備		組合	H 24	H 25	○		建設工事					
施設整備 に係る計画 支援に関 するもの	31	1の計画支援		組合	H 23	H 24	○	・施設整備基本計画 ・水処理棟耐震診断業務 ・生活環境影響調査 ・発注仕様書作成支援業務 ・落札基準、入札説明書作成業務	技術提案書の検討業務					
	32	2の計画支援		組合	H 23	H 23	○	ダイオキシン類調査業務 発注仕様書作成支援業務 見積設計図書の見積業務						
その他	41	不法投棄対策	分別区分の徹底とパトロール強化、看板の設置	南薩地域各市、 組合	H 23	H 27							一斉清掃活動等の普及啓発 パトロールの強化 看板設置	
	42	家電リサイクルに関する普及啓発	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発	南薩地域各市、 組合	H 23	H 27							普及啓発	
	43	災害時の廃棄物処理体制の整備	災害廃棄物処理計画を踏まえた体制整備	南薩地域各市、 組合	H 23	H 25		体制整備に向けた協議					方針策定	

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 施設名称	内鍋清掃センターストックヤード（仮称）
(3) 工期	平成24年度～平成25年度
(4) 施設規模	ストックヤード 約300㎡
(5) 処理方式	保管等
(6) 地域計画内の役割	分別収集された資源ごみの搬出までの一時保管、最終処分量の削減
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

「ストックヤード」を整備する場合

(10) ストック対象物	空きびん、ペットボトル、白色トレイ・発泡スチロール、その他のプラスチック、紙類
--------------	---

(12) 事業計画額	320,000千円
------------	-----------

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 施設名称	汚泥再生処理センター（仮称）
(3) 工期	平成25年度 ～ 平成27年度
(4) 施設規模	処理能力 約240 kl/日
(5) 形式及び処理方式	浄化槽汚泥対応型膜分離高負荷脱窒素処理方式
(6) 地域計画内の役割	し尿、浄化槽汚泥、農業・漁業集落排水処理汚泥の処理・資源化（助燃剤）
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	汚泥助燃剤化
(9) 資源化物の利用計画	本組合ごみ焼却施設「内鍋清掃センター（処理能力112.5 t/日）」、及び日置市ごみ焼却施設「日置市クリーン・リサイクルセンター（処理能力81 t/日）」で 全量利用

(12) 事業計画額	6,384,000千円
------------	-------------

計 画 支 援 概 要

都道府県名 鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 事業目的	<u>汚泥再生処理センター</u> 施設整備のため
(3) 事業名称	汚泥再生処理センター整備（事業番号1）に係る事前調査、設計等事業
(4) 事業期間	平成23年度 ～ 平成24年度
(5) 事業概要	<p>処理方式等の比較検討・選定を行い、施設の運転・管理や配置計画、概算工事費の算出、工程計画などを行い、工事に必要な施設整備の仕様を決定する。</p> <p>施設の稼働に際して、生活環境に影響を及ぼすおそれのある項目について調査を行ったうえで、本事業による環境への影響を予測・評価する。</p> <p>また、具体的な施設整備の内容をとりまとめ、プラントメーカーに対して発注を行うための発注仕様書を作成する。</p>
(6) 事業計画額	25,576千円

計 画 支 援 概 要

都道府県名 鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 事業目的	<u>ストックヤード</u> 施設整備のため
(3) 事業名称	ストックヤード施設（事業番号 2）に係る解体撤去工事等事前調査、設計等事業
(4) 事業期間	平成 23 年度
(5) 事業概要	旧ごみ焼却施設解体撤去工事に必要となるダイオキシン類の事前調査を行い、解体工法の検討、解体基本設計、発注仕様書を作成する。 ストックヤードの施設整備規模の算定を行い、整備計画・実施設計を行う。
(6) 事業計画額	9, 184 千円